

令和7年10月5日(日) 《午前》 「リーダーシップ③」

リーダーシップ③の研修では、「リーダー像」をテーマに、自分自身が目指すリーダー像について考える機会になりました。研修生は、グループディスカッションを通して、リーダーシップを意識しながらどのような行動を取るべきかについて意見を交わしました。自分が得意とすることや、これから伸ばす必要があることなどを再認識して、自分自身のこれからの行動を通じて目標とするリーダーのイメージを探りました。



研修は、まず講師の対話的な講義を聞き、次にグループごとに「リーダーシップとはどのようなものか?」について話し合いました。リーダーシップには「先頭に立って導くタイプ」「周囲を支えるタイプ」など様々なタイプがあることや、「全体を俯瞰する力」「柔軟性」「統率力」など、リーダーに求められる要件などをテーマにグループで意見を出し合いました。また、リーダーシップは人との関係性の上に成り立つものであることから、コミュニケーション能力を身につけることの重要性についても理解を深めました。

次に、「ストーリー・テリング・ワークショップ」を行いました。研修生は、これまで力を入れてきたことや努力してきたことや、これからチャレンジしたいことなどをワークシートにまとめました。そして小グループで互いに共有しました。相手の話をよく聴くことで、相手のことをより深く知り、「聴くことができるリーダー」としての資質を身に付けることもこの活動のねらいの一つです。このようなディスカッションを通して、自分にはどのようなリーダーシップが適しているのかを考えるヒントを得ることができました。

続いて行った研修は「自分のリーダーシップと向き合うケース・ディスカッション」です。まず、自分がどのようなリーダーになりたいのかをワークシートに整理し、それを小グループで共有することにより、自分にふさわしいリーダーシップへの理解を深めました。更に、どのような状況で、どのようなタイミングで、リーダーとして行動を起こすことができるのかを話し合いました。2つの具体的なケースを想定して、リーダーとしてどのように考え、どのように対処・行動するのかを具体的に考えてディスカッションしました。

研修の最後には、講師から「小さなことから世界は変わる、小さなことからでもよいので、明日からアクションを起こそう」とのメッセージが伝えられました。あわせて、留学を通してリーダーとして必要な「訊く力」「決める力」「動かす力」を身に付けてほしいとの言葉で研修を終えました。

この研修を通して、研修生は様々な切り口からリーダーシップの在り方に対する理解を深め、リーダーとして、自分らしく社会貢献ができる生き方を考えるきっかけになりました。

令和7年10月5日(日)《午後》「3か月前オリエンテーション」

午後1時より、14期生Aコースの3か月前オリエンテーションが行われました。本オリエンテーションは、研修生および保護者を対象として第1部と第2部の2部構成で行われました。

第1部では、東京都教育委員会の挨拶のあと、担当から留学に向けて、次世代リーダー研修生としての責任、規則、心構えなどについてお話しがありました。また、学校への届け出、単位認定などの説明もありました。続けて、事務局からも留学生活、留学に向けての準備についての説明がありました。



第2部では、研修生はオーストラリアとニュージーランドの留学先ごとに分かれて、各留学先の紹介、現地の国の教育制度、学校生活、ビザの申請方法などの具体的な説明がありました。

最後に個別相談の時間が設けられ、個別相談会場にはオーストラリア留学、ニュージーランド留学、保険、通信関係、東京都教育委員会の5つのブースが設けられました。また、修了生たちによる体験談を聞くことができるコーナーも設けられました。

渡航まで残り3か月に迫り、研修生たちは家族と一緒に真剣に話を聞き、相談を受けていました。